令和六年度「くまナビ評価問題」

小学校国語　第四学年

一　ゆみこさんの学級では、社会科見学で行った山都町の「通潤橋」について、新聞にまとめる

つうじゅんきょう

【通潤橋の写真】

やまと

名前

ことにしました。ゆみこさんの班は見学での気付きをふせんに書き、見出しの内容ごとに整理

しています。次は、ゆみこさんたちが、【ふせんを見出しごとに整理したもの】と【通潤橋の

写真】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

〈石の管〉

ふ た　やす の すけ

【ふせんを見出しごとに整理したもの】

（１）　ゆみこさんは、自分が書いたふせんをどの見出しに整理するか考えています。あなたなら【ゆみこさんが書いたふせん】をどの見出しに整理しますか。次の１から４までの中から最もてきせつなものを一つ選んで番号に〇をつけましょう。

また、選んだ理由について、見出しやふせんの中の言葉を使って書きましょう。

【ゆみこさんが書いたふせん】

１　橋をつくった理由

約１７０年前、村は水不足になやんでいた。

布田保之助が中心となり、白糸大地の田畑に水を送るためにつくった。

２　今の通潤橋

橋からの放水が人気で、外国からの観光客も多い。

令和５年に国宝に指定された。

いろいろな形の石をアーチ状に積み重ねている。

３　橋のつくり

橋の長さは約７８m、高さは約２１ｍある。

橋の上に水を送る管（通水管）が３本ある。

〈通水管〉

※写真は熊本地しん後の工事のため、

通水管が表に出ているものです。



※見出しとして最もてきせつなものを一つ選び、その番号を○で囲みましょう。

１　橋をつくった理由　　　２　今の通潤橋

３　橋のつくり　　　　　　４　水を通す工夫

（選んだ理由）

４　水を通す工夫

「通水管」は、「石の管」を約６００こつなぎ、水がもれない工夫がしてある。

周りの地形を利用して、自然の力で水が流れるようにしている。

〈放水の様子〉



○　ゆみこさんは、見学での気付きを整理する中で、通潤橋の「放水」にきょうみを持ちました。次は、資料やインターネットで【放水について調べたこと】と、【先生とゆみこさんの会話】です。

〈水ぬきあな〉



【放水について調べたこと】

○放水しているあなは「水ぬきあな」という。

○通潤橋は、川から水を引いている。

○通水管に、川の土やすな、落ち葉、ごみなどが流れこむ。

○通水管の中には、流れこんだ土やすな、落ち葉、ごみなどがたまる。

○「水ぬきあな」は、通水管の中にたまったものを取りのぞくためにつくられた。

【先生とゆみこさんの会話】

ゆみこさんは、「放水」について調べてみて、新聞記事にどのようなことを書きたいと思いましたか。



先生

ゆみこさん

（２）　「　Ａ　」に入る言葉として、最もてきせつなものを、次の１から４までの中から一つ

わたしは、橋の真ん中にある「水ぬきあな」の「　　Ａ　　」について書きたいです。なぜなら、初めは観光のために放水していると思っていましたが、何のために放水するのか理由が分かったからです。

選んで、その番号に〇をつけましょう。

１ 名前　　　２　役わり　　　３　大きさ　　　４　つくり方

（３）　ゆみこさんは、通潤橋の放水の理由について、「水ぬきあな」と関係付けて記事を書くことにしました。あなたがゆみこさんなら、どのように書きますか。

次の[書き方]に合わせて、　　　　に書きましょう。

[書き方]

○「水ぬきあな」から放水する理由が伝わるように書くこと。

○【放水について調べたこと】の言葉や文を使って、書き出しの言葉につながるように書くこと。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | 通潤橋は、川から水を引いているので、 |

通潤橋の放水を見るために、たくさんの観光客がおとずれます。放水は、橋の真ん中の水ぬきあなから行われますが、それには理由があります。

わたしは、通潤橋の中を水が流れるように工夫していたむかしの人のちえを知り、とてもおどろきました。